

実践事例

学校名 _____

1 実践の概要

(1) 取組みのねらい

- どんな理由があっても、いじめは絶対に許されるものではないことを理解させる。
- 自分たちの問題を自分たちの力で解決しようという自治意識を育てる。
- 本校の教育目標である「夢」～自立・友愛・健康～を具現化する場とする。

(2) 取組みの内容

- 「いじめゼロ集会」(平成18年12月1日実施)にあたり、「いじめゼロ宣言」を採択した。なお、19年度も「いじめゼロ集会」を実施予定。
 - ・ いじめに関する意識調査(アンケート)実施。
 - ・ いじめ 撲滅 集会として、ふさわしい名称を生徒会執行部で考案。
(いじめ撲滅(追放)集会 → 「いじめゼロ集会」に決定)
 - ・ いじめゼロ学級会の実施。
(いじめゼロ宣言書原案の作成)
 - ・ 学年評議員会での話し合い。
(学年いじめゼロ宣言書の作成)
 - ・ いじめゼロ集会の内容検討
 - ・ 生徒会執行部による「いじめゼロ大宣言書」の作成
 - ・ 廊下掲示用宣言書の作成

2 実践の成果(態度・心情面やいじめの解決など)

- 集会名を、いじめ「撲滅」「追放」「根絶」「防止」等の名称で検討し、いじめゼロ集会という名称にまとめた。
- 生徒会執行部の **情熱**(いじめをなくそう、ふざけっこをなくそう)をいかに全生徒に伝えていくか、執行部へのはたらきかけと育成を図った。
- 評議委員会を機能させて、生徒会-評議委員会-学年という連携をいかに確立するかということで、学級委員への働きかけと育成を図った。
- 基本的なスタンス(いじめは、いじている側が悪い)を、常に意識させた。

3 取組みの評価(対応についての評価)

- 生徒会執行部が、情熱をもって取り組み、その情熱を全校生に伝えていけるか。
- 評議委員会、学級会といった会を、いかに活用していくか。

4 実践に関する資料(学習カード等)

- 別紙参照

いじめゼロ大宣言書

私たちは、まだまだ足りないところがたくさんあります。私たちは、常に失敗や過ちをおかしながら生きています。しかし、絶対にしてはいけない過ちがあります。す。それは、いじめです。人を傷つけてしま。ういじめです。私たちはどんなに小さなことでも、いじめを絶対に許しません。

私たちは今回、このいじめゼロ集会や学級会などでいじめられる人たちのつらさや悔しさを知り、お互いの人権を尊重し、あ。うこの大切さを学びました。だから、い。じめをなくす案を考え続け、「いじめを絶対。しない・させない・許さない」のロー。ガ。ンのもと、強い心を持ちます。

そして私たち 学校の生徒は、この学校からいじめを絶対にゼロにし、「夢」を実現させるために頑張り続けることを誓います。

平成十八年

月

日

立

学校

全校生徒一同

12/1「いじめゼロ集会」進行プログラム

生徒会

時刻	時間	内 容	備 考
14:25	15	清掃 清掃時に会場準備に係のほうで行う	○準備物：マイクなどの放送機器、スクリーン、プロジェクター、パソコン
14:50	10	生徒体育館入場 ふだんの生徒集会と同様の隊形で整列 全員制服、椅子はいらない	○14:50には、トイレなどをすませ廊下に整列完了。
15:00		◎いじめゼロ集会開始 (進行:)	
	2	1 開会の言葉 「1 開会の言葉」(.....) 「これから、いじめゼロ集会を始めます。」	○ステージ上スクリーン前で行う。 ○登壇「礼」・降壇「礼」 ○答礼の指導
15:02	5	2 生徒会長のお話 「2 生徒会長のお話」(.....)	○ステージ上スクリーン前で行う。 ○登壇「礼」・降壇「礼」 ○答礼の指導
15:07	20	3 いじめゼロ宣言書の発表 「3 いじめゼロ宣言書の発表」 「前から静かに腰を下ろしてください」 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ①「それでは、1学年お願いします」 学級委員長・副委員長は登壇しステージ下に1列に整列する ②「1学年のみなさんは、全員その場に起立してください」 発表学年の学級委員以外の生徒はその場で起立させる ③ 学年の代表者が、演台で『いじめゼロ宣言書』を読み上げる。 (プロジェクターで各学年の宣言書が映るようにしておく) 「これから1学年のいじめゼロ宣言書の発表を行います。(学級委員全員で礼)」 「これで1学年のいじめゼロ宣言書の発表を終わります。(学級委員全員で礼)」 ④ 代表者は読み終えた宣言書を、進行席前にいる生徒会長に手渡す。 ⑤「ありがとうございました。全員、着席してください」 ステージ下の学級委員も自席に戻る (同様に)「それでは、2学年お願いします」 「それでは、3学年お願いします」 </div>	○ステージ上にスクリーンを設置し、各学年の宣言を映す。 ○スクリーンがきれいに映る程度にステージ上などを消灯する。 ○各学年発表者 1年 (.....) 2年 (.....) 3年 (.....) ○執行部の役割分担 パソコン操作 (.....) 照明 (.....) 採択確認 (.....) (.....) (.....) (.....) (.....)